

エコアクション21



2021年度(第61期) 環境経営レポート

対象期間 2021年02月～2022年01月

2022年4月28日 発行

確かな経験と技術

株式会社 旭光

Support Your Future And Dream



Kyokko Co., Ltd.



事業の概要

1. 事業者名

株式会社 旭光
代表取締役社長 宇治川 幸子

2. 所在地

〒374-0133 群馬県邑楽郡板倉町岩田808

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者	:	代表取締役社長	宇治川 幸子
環境管理責任者	:	取締役工場長	磯村 好一
担当者	:	EA事務局	齋藤 克敏
		TEL :	0276-82-1727
		FAX :	0276-82-1729

4. 対象範囲

株式会社旭光 全組織・全活動

5. 事業活動

航空、宇宙、自動車、高速車両等の試作品、
開発品、部品、治具等の機械加工

6. 事業規模

従業員	:	43人
敷地面積	:	6,470m ²
延床面積	:	2,991m ²

環境経営方針

〈環境基本理念〉

1. 経営理念

「世界に誇る精度の高い製品を追求し、常にお客さまに喜ばれる存在でありたい」

- (1)お客さまの注文に感謝する。
- (2)お客さまに絶対迷惑をかけない。
- (3)お客さまを大切にする。

2. 環境行動指針

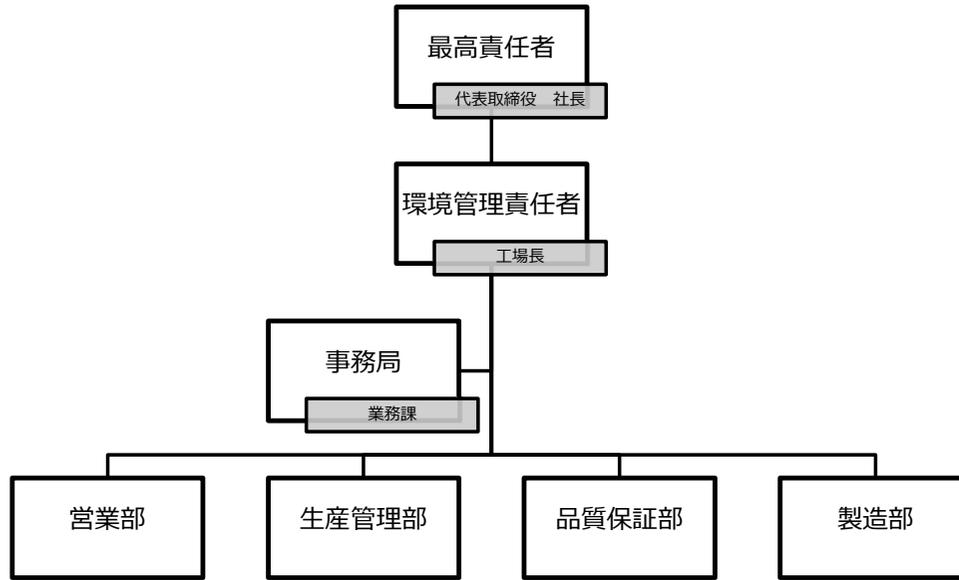
「私たちは、より環境に配慮した会社生活、家庭生活をします。」に基づき、生産活動において、地域社会の良き市民であることを認識し環境経営を追求し、お客さま、取引先、地域社会との相互信頼を基に人と我々の住む地球が健全に存続できる環境の実現に貢献いたします。

〈環境経営方針〉

1. 当社は、治具、各種機械部品の機械加工、サブ・アッセンブリーなどの製品及びサービスを行っています。これらの事業活動における各段階において、当社の一人一人が環境保全活動（汚染の予防）と環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。
2. 環境保全に関する法律ならびに当社が同意した顧客、地域社会等の要求事項を遵守します。又、必要に応じて自主的な環境目的・目標を設定し汚染の予防に努めます。
3. 循環型社会に沿った事業活動として、下記の項目をテーマとして取組みます。
 - (1)省エネルギーの推進
 - (2)廃棄物の適正な処理と削減
 - (3)環境負荷化学物質の削減と工場外（地域河川）への流出防止管理
4. 環境経営方針は当社の全従業員にカードやポスター等で周知徹底を図ります。
5. この環境経営方針はお客さま、取引先、地域社会の方々へも公開いたします。

制定日 2019年2月1日
代表取締役社長 宇治川 幸子

エコアクション推進体制



役職	役割
最高責任者	① 環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ② エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源(人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む)を準備する。 ③ 環境経営方針を制定する。 ④ エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境経営方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。 ⑤ 経営における課題とチャンスを確認にする。
環境管理責任者	① エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。 ② エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
事務局	① 事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。

計画に基づき実施した取組内容

環境目標	取組内容
加工高当たりの 二酸化炭素排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ①空調温度適正化・推進 ②照明・PC電源不要時のOFFの推進 ③エアコン清掃の実施 ④エコドライブ推進 ⑤社用車の点検・整備(定期点検時) ⑥電力、ガソリン量、その他の集計 ⑦目標達成状況・活動進捗状況確認 ⑧エアー漏れ点検
加工高当たりの 廃棄物排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ①分別ルールの徹底 ②廃棄物置場、各ゴミ箱の整備 ③廃棄物排出量の集計 ④目標達成状況・活動進捗状況確認 ⑤エコ活動
従業員一人当たりの 水資源投入量削減	<ul style="list-style-type: none"> ①毎月のメータを確認する(漏水防止) ②節水表示
工程不具合低減	<ul style="list-style-type: none"> ①不具合低減活動
化学物質取扱及び管理の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ①新規取扱品のSDS入手 ②毎月、購買量・消費量・在庫の確認



環境負荷実績

二酸化炭素排出量の実績と評価

	60期 実績	61期 実績	削減率
社内加工高(100万円)	400	358	-10.50
電力使用量 (kg-CO2)	529382	412531	-22.07
ガソリン (kg-CO2)	10940	9862	-9.85
軽油 (kg-CO2)	26313	19620	-25.44
灯油 (kg-CO2)	-	-	-
LPガス (kg-CO2)	272	244	-10.43
二酸化炭素排出総量(kg-CO2)	566907	442257	-21.99
社内加工高当たりの排出量 (kg-CO2/100万円)	1417.27	1235.36	-12.84

* 購入電力の排出係数は、0.385kg-CO2/Kwh
(株)エネット 令和4年2月17日環境省・経済産業省公表



取組結果の評価

二酸化炭素排出量は目標に対して約12%の減少になった。これはコロナウイルスの影響により、設備の稼働時間の減少により電力使用量が減少したと考えられる。また、営業活動の自粛やオンラインでの対応により、社用車の使用が減少しているため、燃料の使用量も大きく減少した。

次年度への取組計画

電気使用量の削減と把握のため、電気使用量に関するグラフを作成・掲示をし、周知徹底と監視を行う。売り上げが減少しているため、工程の内製化により社内加工高の増加を図っている。

環境負荷実績

廃棄物排出量の実績と評価

	60期 実績	61期 実績	削減率
社内加工高(100万円)	400	358	-10.50

廃棄物排出量(kg)	64196	50700	-21.02
社内加工高当たりの排出量 (kg/100万円)	160.49	141.62	-11.76



取組結果の評価

全社において、分別の意識がかなり浸透している廃棄物の量は11.76%減少した。

これもコロナウイルスの影響による仕事量の減少が大きな要因である。

エコ活動で行っている切粉の分別は継続しています。刃物を再研磨及びリサイクルすることにより、工具の廃棄が減少傾向にあります。

さらなる産業廃棄物の削減に向けて、様々な活動に取り組んでいます。

次年度への取組計画

若手社員数名でエコチームを作り、エコ活動に取り組んでいく。(現在、チタン材の加工が少ないため1チーム実績なし)
今期も新チームを発足し、エコ活動の推進を行っていく。

環境負荷実績

水資源使用量の実績と評価

水資源使用量(m ³)	888	853	-3.94
従業員数(人)	46	43	
社員一人当たりの使用量(m ³ /人)	19.30	19.84	2.76

取組結果の評価

水資源使用量は3.94%減少したが、社員一人当たりには使用量としては2.76%の増加になっている。

今期においても新規設備の導入が行われ、生活用水以外の使用量が増加した結果だと思われる。社員の節水への努力に取り組んでいく。



次年度への取組計画

漏水のメーターチェック(検針時の水量把握)、節水の啓蒙を進める

エコ活動（切削工具の廃棄量削減）

○チームポリッシュ



	61期実績
排出量(本)	426
新品(円)	4,007,525
再研磨(円)	1,142,371
差額(円)	2,865,154

再研磨専用の通箱を設置

購入費を2,865,154円削減



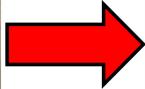
エコ活動（防錆油スプレー缶の使用量削減）



○チームHANAOKA



イルネックス NS-100スプレー (420ml)



ラスファイター (20L)



スプレー容器に入れ替えて使用

	イルネックス (58期実績)		ラスファイター (61期実績)
購入量(ℓ)	34.14		20
廃棄量(kg)	10.2	➔	1.34
購入金額(円)	40,290		9,000

※60期以降イルネックスの使用は0本

廃棄量 8.86kg削減

購入費 31,290円削減

避難訓練・消火訓練



火災を想定した
避難訓練を実施



消火器の使用方法について
消防署より説明



消火訓練の実施



2021年度不具合低減活動実績報告

期間: 2021年02月～2022年01月(61期)

活動部署: 製造部

テーマ

- ・工具補正ミスによる不具合の低減
- ・原点補正ミスによる不具合の低減
- ・図面の見落としによる不具合の低減

- 目標
- ・工具補正ミスによる不具合 1件以内
 - ・原点補正ミスによる不具合 1件以内
 - ・図面の見落としによる不具合 1件以内

活動内容

- ・指差し呼称の徹底(確認作業)
- ・作業前に図面確認(思い込みによる作業の廃止)
- ・ホワイトボード、メモ書きの活用(実測値の記録)

活動結果

- ・工具補正ミスによる不具合 0件
- ・原点補正ミスによる不具合 0件
- ・図面の見落としによる不具合 1件



①NCデータ作成に必要な作図作業中に、他の部位の寸法を全長寸法と思い込んでしまった。
 是正対策として、図面の確認作業でマーカを使用して色分けを行ったり、作図したCAD図を印刷し図面と照らし合わせて間違えを防ぐ。

2022年度不具合低減活動計画

期間：2022年02月～2023年01月（62期）

活動部署：製造部

テーマ

人的要因による不良件数の低減

活動目標 ・人的要因による不具合 8件以内

活動内容

- ・作業標準書に沿った作業の実施
- ・不具合対策の水平展開
- ・初品検査、工程検査の徹底でロットアウトの撲滅
- ・段取りミスによる不具合低減



環境関連法規の厳守状況

法規制等の名称	遵守事項
浄化槽法	<ul style="list-style-type: none"> ・年4回の保守点検 ・年1回の11条検査
騒音規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・特定施設設置届け
振動規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・特定施設設置届け
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物収集運搬及び処分業者との契約書 ・マニフェスト管理及び交付状況報告管理
労働安全衛生法	<ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生委員会設置 ・その他
消防法	<ul style="list-style-type: none"> ・消防設備の定期点検
フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易点検 ・定期点検
群馬県の生活環境を保全する条例	<ul style="list-style-type: none"> ・公害防止（騒音、振動）

※環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局からの違反等の指摘はありません。

代表者による全体の評価と見直し・指示

・61期ではコロナウイルスの影響により、受注量が思うように確保できませんでした。設備稼働時間や営業活動の自粛によりエネルギーの使用量は減りましたが、売上も大幅に減少してしまいました。

・現在まで、環境負荷の削減目標は売上当たりで算出してきましたが、今期から環境負荷への取り組みに対してより正確な数値を算出するために、社内加工高当たりから算出をすることに致しました。コロナ禍で先行きが不透明な部分があり、中長期の目標計画も難しい状況にあります。前期の実績に対して今期はどういった対策ができるかを監視し、来期への目標計画をしていきます。

・グループによるエコ活動では、切粉の分別や、工具の排出量低減、消耗品のコスト削減などを行っていますが、今後も更にグループ活動を推進していく予定です。

目的・計画・実施体制